

株式会社フルキャストホールディングス

2013年12月期第3四半期
業績説明資料

2013年11月8日

Agenda

- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

2013年11月8日(金)に業績予想の修正を行なっております。

| | 連結営業利益 |
|-----------|-------------|
| 前回発表予想(A) | 765 |
| 今回修正予想(B) | 323～533 |
| 増減額(B-A) | ▲441～▲232 |
| 増減率(%) | ▲57.7～▲30.3 |

単位:百万円

【開示方式及び通期連結業績予想 修正理由】

当社グループは、2012年10月1日に労働者派遣法改正法が施行されたことにあわせて、当社グループの主力事業である「短期業務支援事業」において、短期派遣事業から「アルバイト紹介」及び「アルバイト給与管理代行」に業態を転換しております。特に新たな事業を立ち上げてからさほど時間も経過していないため、業績の変動幅が大きく、蓋然性の高い業績予想値を算出することが困難であることから、2013年12月期通期連結業績予想の開示方式については、連結営業利益のみをレンジにて開示する方式に変更いたします。

なお、2013年12月期第4四半期連結会計期間(2013年10月から12月)は、当社グループにとって例年では最も繁忙する会計期間であります。当第3四半期連結会計期間の実績が2013年2月15日に発表した業績予想より1四半期程の遅れをもって推移していることから、期初業績予想における連結営業利益765百万円に対し323百万円～533百万円(増減率:最小30.3%から最大57.7%)のレンジで下方修正いたします。

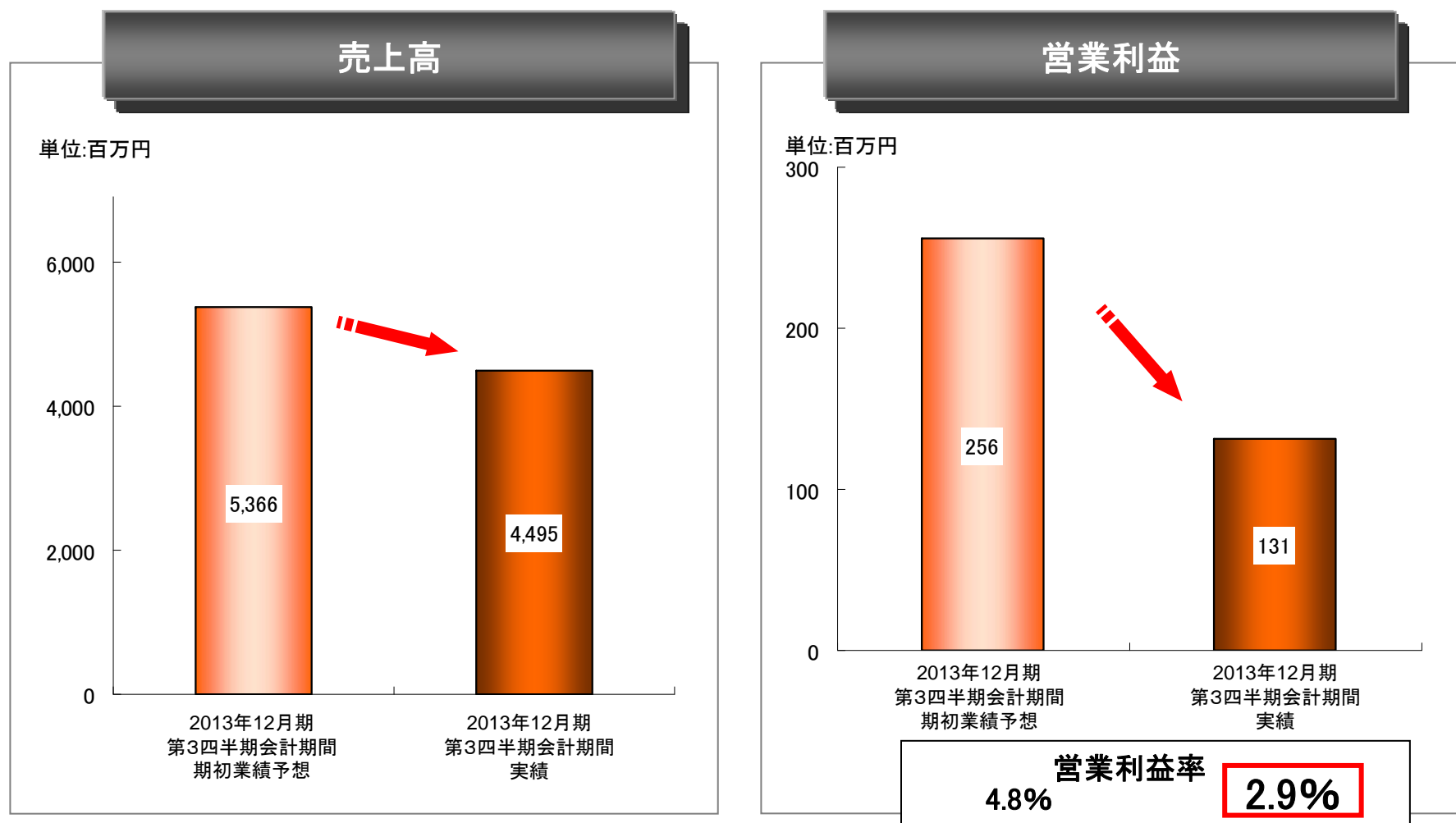
Agenda

- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

- 当社は2012年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。これに伴い、2013年12月期第3四半期累計期間(1月から9月)は、比較対象となる2012年12月期第3四半期累計期間(10月から6月)と月度が異なることから、前年同四半期との比較は行っておりません。
- 当社は労働者派遣法改正法の施行に伴い、2012年10月1日より短期業務支援事業において新サービス(アルバイト紹介及びアルバイト給与管理代行)を開始し、前年同期間(2012年1月から9月)とサービス構成が異なっております。このことから前年同期間との比較は行っておりません。
- 以上の理由から、当社は2013年12月期第1四半期及び第2四半期における業績説明を期初業績予想との比較で説明してまいりました。当社は2013年11月8日に通期連結業績予想の修正を発表しておりますが、開示方式を連結営業利益のみをレンジにて開示していることから、修正業績予想との比較ではなく、前四半期同様、期初業績予想との比較にて説明しております。

2013年12月期第3四半期 連結 会計期間(期初業績予想対比)

期初業績予想との対比では、短期業務支援事業の売上高が計画どおり進捗しなかったことを主因として、売上高は872百万円の未達成となった。一方で、営業利益は当第2四半期に引き続きシステム化を含めた業務の見直しによる効率化の実現、及び想定以上の求人効率と稼働効率のアップによる求人費の抑制によって、収益低下を抑え、期初業績予想対比では125百万円の未達成であったものの、当第3四半期会計期間で前四半期より黒字幅を拡大した。



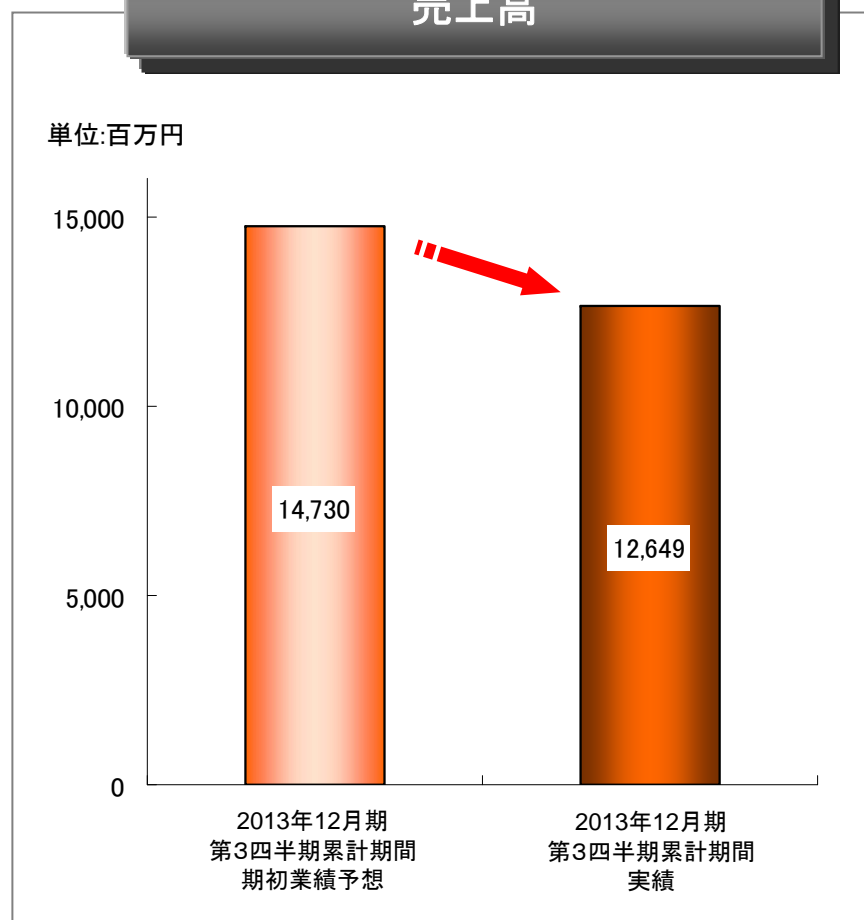
Agenda

- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

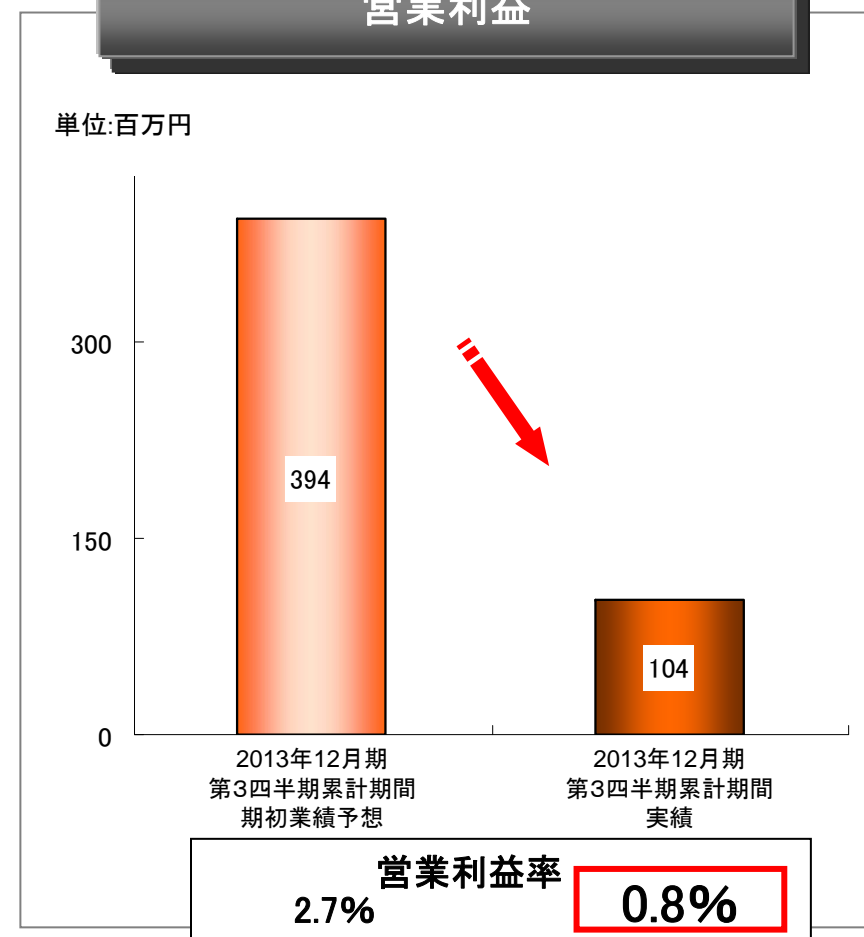
2013年12月期第3四半期 連結 累計期間(期初業績予想対比)

期初業績予想との対比では、短期業務支援事業の売上高が計画どおり進捗しなかったことを主因として、売上高は2,082百万円の未達成となった。営業利益は、当第2四半期に引き続きシステム化を含めた業務の見直しによる効率化の実現、及び想定以上の求人効率と稼働効率のアップによる求人費の抑制によって、収益低下を抑え、新サービス開始後、初めて累計期間において黒字化を果たしたものの、短期業務支援事業の売上高が計画どおり進捗しなかった影響を補いきれず、期初業績予想対比で291百万円の未達成となった。

売上高



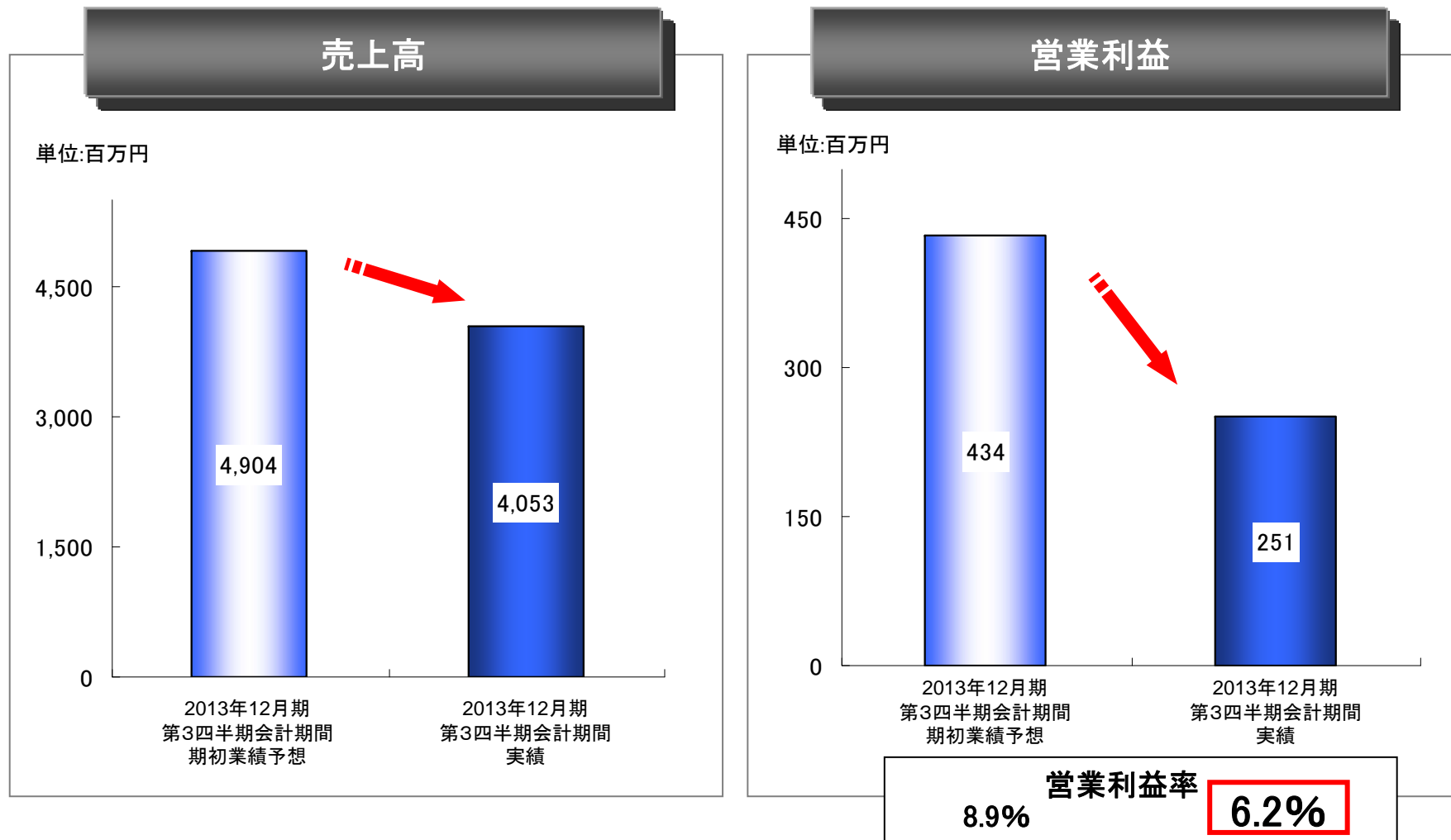
営業利益



Agenda

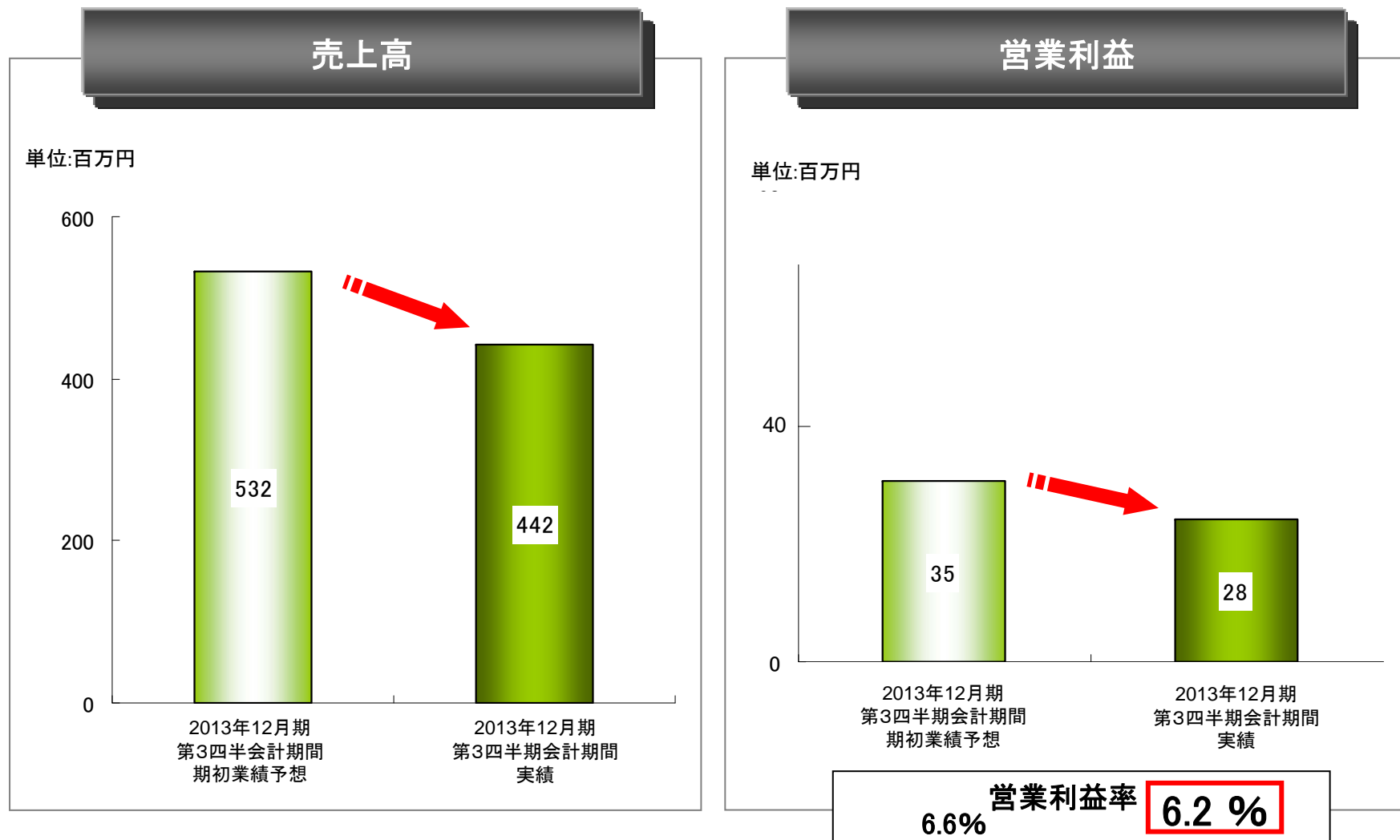
- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

期初業績予想との対比では、売上高が計画どおり進捗しなかったことが影響し、売上高は851百万円の未達成となった。営業利益は、当第2四半期に引き続きシステム化を含めた業務の見直しによる効率化の実現、及び想定以上の求人効率と稼働効率のアップによる求人費の抑制によって、収益低下を抑え、当第3四半期会計期間で前四半期より黒字幅を拡大したものの、売上高が計画どおり進捗しなかった影響を補いきれず、期初業績予想対比で183百万円の未達成となった。



2013年12月期第3四半期 警備事業 会計期間(期初業績予想対比)

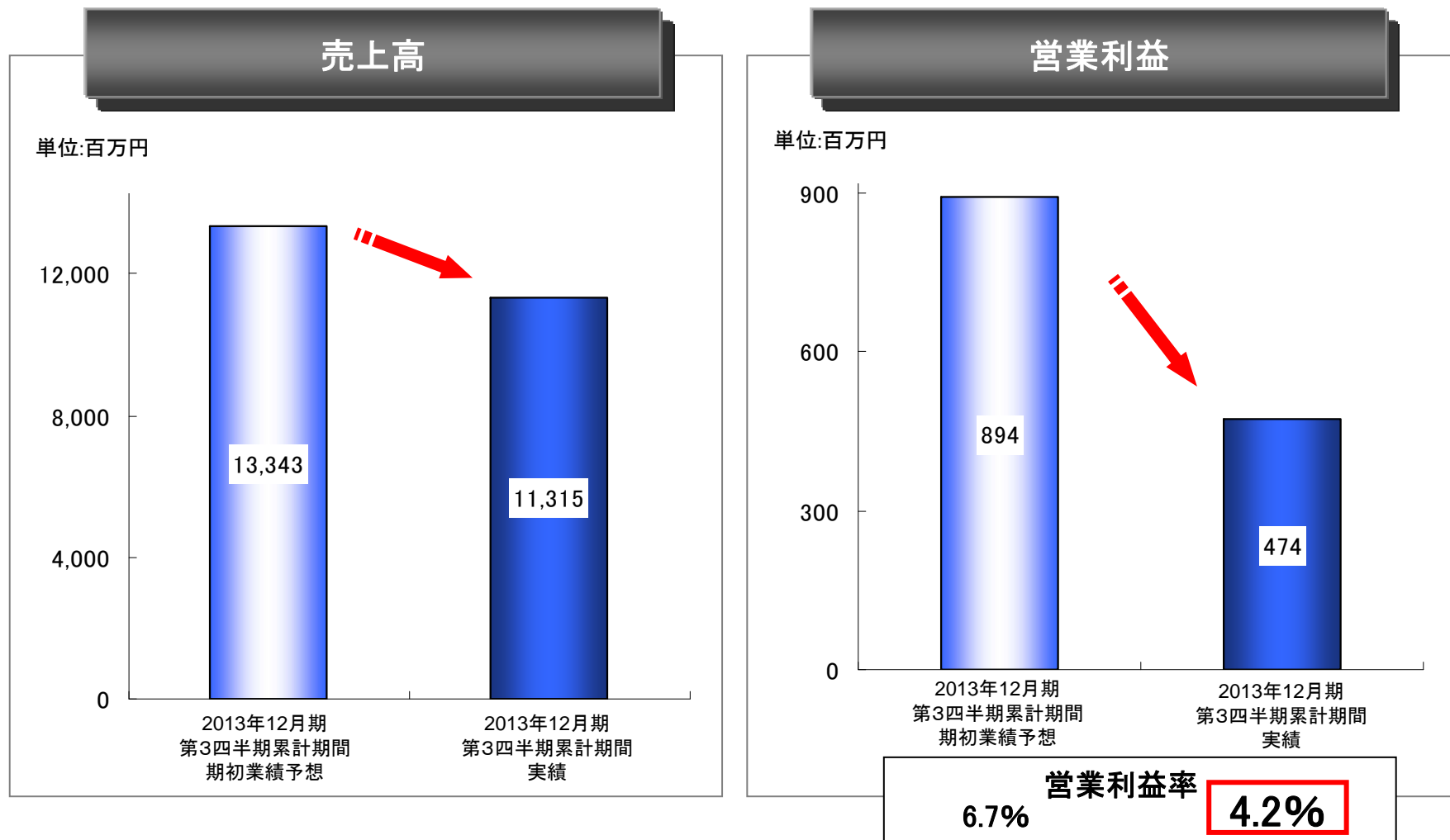
期初業績予想との対比では、売上高が90百万円の未達成となった。未達成の主要因として、新規常駐警備及び臨時案件の獲得が想定に及ばなかったことが影響した。一方で営業利益は、売上高が計画に及ばなかった影響を補いきれず、期初業績予想対比で7百万円の未達成となった。



Agenda

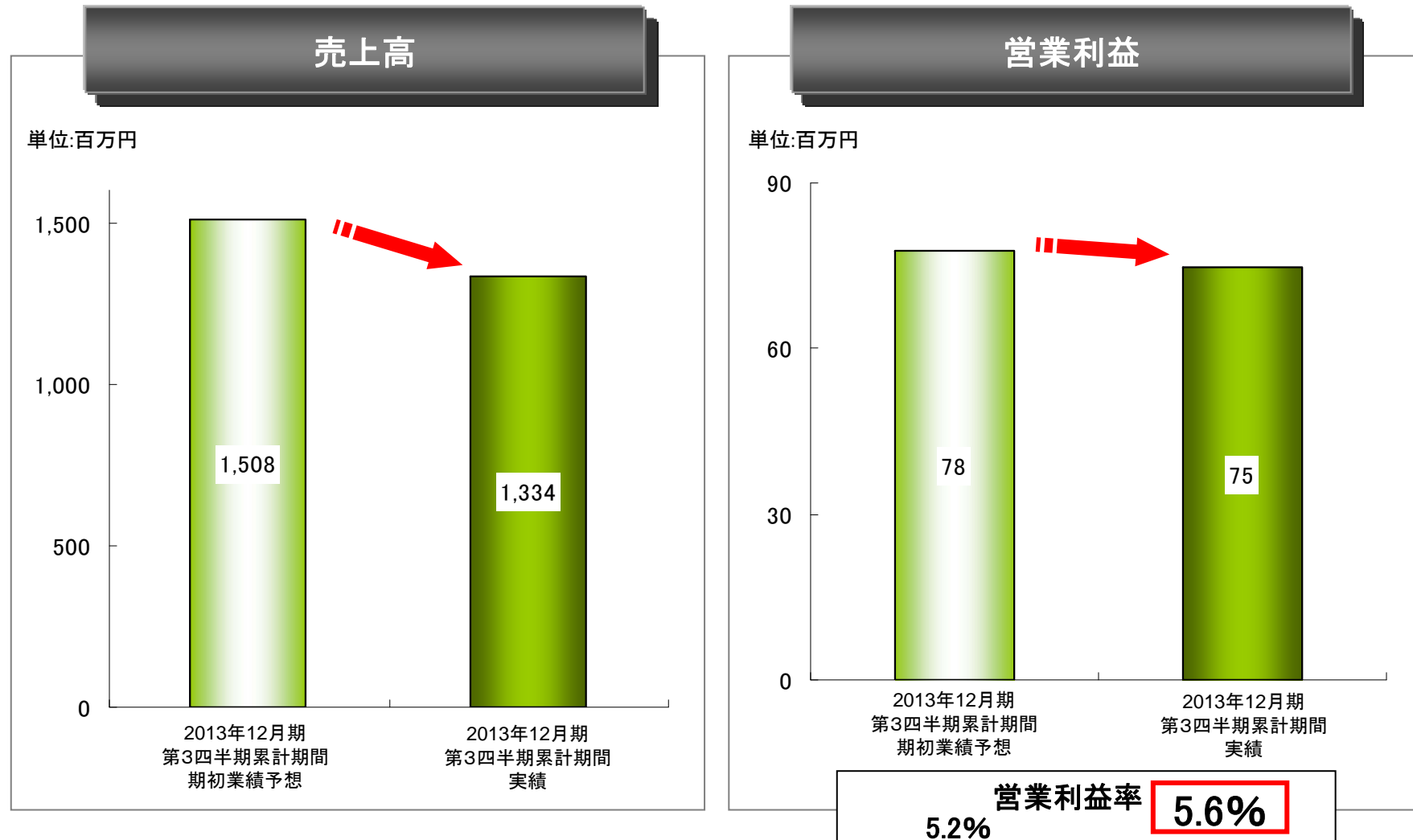
- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

期初業績予想との対比では、会計期間同様の理由により、売上高は2,027百万円の未達成、営業利益は420百万円の未達成となった。



2013年12月期第3四半期 警備事業 累計期間(期初業績予想対比)

期初業績予想との対比では、会計期間同様の理由により、売上高が174百万円の未達成となった。一方で営業利益は、販管費の抑制により収益低下を抑えたことで、概ね計画どおりに進捗した。



Agenda

- ◆ 2013年12月期 通期 連結業績予想の修正 P.3
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結会計期間業績
(2013年7月～9月) P.5
- ◆ 2013年12月期第3四半期 連結累計期間業績
(2013年1月～9月) P.8
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別会計期間業績
(2013年7月～9月) P.10
- ◆ 2013年12月期第3四半期 セグメント別累計期間業績
(2013年1月～9月) P.13
- ◆ 2013年12月期 通期業績予想進捗 P.16

2013年12月期業績予想進捗

単位:百万円

| | 第3四半期累計 (実績) | 通期 (修正業績予想) | 通期 (期初業績予想) | 進捗率 (対修正業績予想) |
|--------|-----------------|----------------|----------------|------------------|
| 連結営業利益 | 104 | 323～533 | 765 | 32.0%～19.4% |

人材サービス企業として 日本の競争力向上に貢献する。



米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株

米国証券コード(CUSIP)：35968P100

Symbol：FULCY

預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)

Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課：03 - 4530 - 4830

URL：<http://www.fullcastholdings.co.jp/ir>

e-mail：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。

Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。